

## 香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園の整備説明会の記録

日時：平成30年2月27日（火）19時～21時

場所：香里ヶ丘図書館集会所 参加29名

この記録は、説明会で出されたご質問・ご意見並びに回答の要旨を記したものであり、テーマごとに編集しています。

### 1. 説明

- ・図書館の整備について
- ・公園の整備について
- ・市民アンケート等の実施結果について

### 2. 質疑応答

#### 【整備全体について】

Q：図書館駐車場が目的外使用されてしまうのではないかと心配です。何か工夫をしてほしい。

A：今後、駐車場については、目的外利用が行われないようしっかりと検討していきます。市全体の考え方にに基づき有料化の検討もしていく必要があると考えています。

Q：図書館と公園の一体整備を行うことで、なぜ定住を促すことができるのか。

A：図書館の建替えをするとともに公園とをブリッジでつなげることで、活用方法の広がりを生み出すことができます。そのことで、まちの魅力向上に繋がり、定住促進へと結びつくと考えています。行政としても今回の建替えを単なる建替えではなく、隣接する公園を含めた相互活用を行い、地域の魅力向上に貢献する整備内容としていきたいと考えています。

意見：リニューアルを行うにあたり、自然環境を壊すというのは、美術館建設時と同じことを行っているのではないかと懸念しています。

意見：自然を大事にしてほしい。周囲は住宅開発等で自然環境が減っている。

#### 【図書館の整備について】

Q：ソーラーパネルは景観を損なうので不要だと思うが設置によってどのくらい経費削減を行えるのか。

A：現状では、2階の倉庫等があるエリアの上の屋上部分に設置を検討しています。売電の予定はありません。費用対効果やスケールメリットを検証した上で、設置をするのかを含めた検討を進めていきます。

Q：騒音が発生するようなイベントは行わないでほしい。図書館は静かな環境であるべき。

A：設計事業者から提案されていた3階屋上のイベントスペースは、設けません。2階バルコニーでも、大きな音の出るイベント等を行う予定はありませんが、読書スペースの設置は検討しています。また旧バラ園では昆虫採集、植物採集イベント、アウトドアライブラリーの開催を検討していきます。

Q：図書館は地元住民の居場所となっている。工期の短縮はできないか。

A：図書館東側・北側の法面については、安全性を考慮して再整備を行う必要が有ります。しかしながら建物が無い状態でしか整備を行えないため、今回の解体工事後に整備せざるを得ません。また、なるべく公園の樹木を残しながら整備を進めていくことや、通学時間の交通規制等もふまえた工期設定となっています。これ以上の工期短縮は安全を損なう可能性があるため、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q：床の吹き出し式冷暖房は、夏場足元から冷たい空気が流れるが大丈夫か。集会室は新しい建物になり、利用が増えると思うが、足りるのか。

A：ライフサイクルコストや維持管理面を考慮し、吹き抜けを行わないので、通常の空調設備の設置で対応します。集会室については、現在の集会所の利用状況やリニューアルすることでの利用増加も考慮しています。そのため現在の案が妥当であると考えています。

#### 【公園の整備について】

Q：駐車場を拡張するにあたり、山を切るのか。基本設計はいつ終わるのか。

A：山は切らずに現在花壇として使用している部分を駐車場とすることで、駐車台数を増やします。今回の整備はあくまで部分改修のため基本設計は行いません。今後みなさんの意見をお聞きしながら実施設計を進めていきます。

Q：プレーパークとは実際に何をするのか。事故があった場合の責任所在はどうするのか。バスケットゴールはしっかりと改修し、市が管理してくれるのか。夜に若者が使用しているようだが、必要なのか。

A：プレーパークは、自然を活用した遊具などを一時的に作り、プレーリーダーを配置した上で運営していくものですので、実際に施設を整備するといったことはありません。事故があった場合は基本的には自己責任です。バスケットゴールについては、市民アンケートでも、撤去してほしいという意見と残してほしいという意見がよせられています。バスケットゴール撤去を地域の意見としてまとめていただければ、市としても検討を行います。

Q：ニセアカシアは外来種だからといって、伐採していく必要はあるのか。

A：トゲが多い・在来種の生育に悪影響を及ぼすといった特性があり、実際に東部の里山で他の植物に実害を与えている事例もあります。また、国からもニセアカシアの管理方針として、早い段階で伐採する旨の通達が来ています。

Q：北側のマンションに住んでいるが、丘の高木が公園からの目隠しになっている。間引かないでほしい。

A：北側樹林地については倒木の恐れのある樹木やニセアカシアなど、必要最低限の伐採に留めます。必要に応じて補植も検討してまいります。

Q：防災倉庫を置いているが引き続き置かせてもらえるのか。

A：置いていただいてもかまいません。ただし、工事の際に支障がある場合は移動をお願いすることがあるかもしれません。

Q：プレーパークは住民とともに作ってほしい。

Q：中央公園に生育している鳥や植物の名板などを付けることで、住民が自然と触れ合える環境とすることができるのではないかと。

Q：ウォーキングコースは土で固めた、足に優しい舗装にしてほしい。

Q：静かなイベントは歓迎だが、ロックコンサート等のイベントは行わないでほしい。

A：プレーパークに関しては、特に工作物等を作ったりはせず、数時間、参加者が自然を利用した遊具等を手作りし、遊び場とするだけです。生き物の調査等、自然と触れ合える貴重な公園であるという認識をしています。東側の傾斜部分については、安全を考慮し45°で法面を整備します。そのため多少の樹木は伐採しますが、その先の樹林地には住民のみなさんにも相談させてもらいながら、名板の設置等を検討していきたいと考えています。ウォーキングコースについては、車椅子の方の利用、降雨時のぬかるみ等を考慮し、土以外の舗装で検討しています。住宅街の公園であるため基本的には騒音となるようなロックコンサートは想定しておりません。

Q：みどりのプラットホームの考え方と同様に、完成を目指すのではなく少しずつ地域住民と進めていくことで、交流が生まれていいのではないかと。

A：現状ある公園であり、ゼロから整備していく公園ではありません。しかし地域住民とともに作っていくという認識は重要であると捉えています。花壇の管理や、清掃活動などのアダプト制度を活用しながら、地域住民とともに公園を管理していきたいと考えています。

【図書館の運営について】

Q：各図書館でのサービスを中央図書館並みのサービスにできないか。

A：蔵書冊数など図書館自体の規模に違いがある中、全く同じサービスを行うことはできません。ご要望によっては、中央図書館との連携で対応可能なものもありますのでカウンターにてご相談ください。

Q：指定管理者制度はふさわしいのか

A：さだ図書館・牧野図書館で既に指定管理者制度を実施しており、その結果をふまえて、指定管理者制度は有効であるとの判断をしています。香里ヶ丘図書館の基本計画でも指定管理者制度の導入を明記しており、それらに基づき、進めていきます。

Q：さだ図書館と牧野図書館で指定管理者制度を導入し、どういった成果があったのか。

A：開館時間の拡大やこれまでやってこなかったイベントを実施してきました。また、指定管理業者は、全国的に展開している企業などもあり、様々なノウハウを持っています。その民間のノウハウを利用することは有効で、直営の中央図書館と連携しながら、より良いサービスを提供していきたいと考えています。

Q：東香里分室・茄子作分室・釈尊時分室はコミュニティとして廃止に反対である。

Q：香里地区は山や谷が多く、直線距離だけで考慮されると、近いところでも大変苦勞して行かなければならない。バスを乗り継いだりと、香里ヶ丘図書館まで行くのに、ものすごく時間を要する場所がある。

A：「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」を平成 29 年 5 月に策定しています。人口の減少が進み財源が縮小することをふまえ、現在の利用状況や圏域を考慮して見直しを進めていくこととしています。ただし、氷室分室のように利用は少ないが、図書館から離れている分室は見直しの対象とはしていません。また、宅配サービスなど身障者の方には無料となるサービスも既に行っています。次の世代に負担を残さないためにも、分室の見直しについては地域との協議を進めていきたいと考えています。

Q：図書館は静かな環境が好ましいのではないか。

A：お子様も連れて利用したいといったご意見もいただいています。ゾーンを分けて、談話もできる和やかな空間と静かな空間とに分けて整備していきます。

Q：指定管理者募集の入札に参加する事業者が減っており、高槻市や大阪市では入札不調となった例もある。図書館の運営は市の直営で行えると思う。指定管理者制度導入ありきの進め方はやめてほしい。

A：指定管理者制度の導入については、複数の事業者に対し事前にサウンディング調査を行い、しっかりと指定管理業務を進めていけるのか確認しながら進めていきます。